

(別紙1)

## 事業報告書

事業名	バリアフリー整備・インクルージョン事業
趣旨・目的	インクルーシブな社会を実現すべく、高齢者、障害者、障害児が集える居場所づくりに取り組んでいる。現在、子どもの支援を中心に活動を行っているが、「みんなの家」をバリアフリー化し、障害者、高齢者も安心して集えるようにする。多様性を大切にし、お互いに成長しあえる環境をつくる。
事業実施の地域及び対象者	小豆島、または島外の高齢者、障害者、赤ちゃんや子ども、お母さん等
事業内容	<p>従来の玄関が階段となっており、車イスの方の入館が難しい状況であり、かつ、トイレが汲み取り式だったために、障害のある方が使用しにくい状況であった。</p> <p>バリアフリー化した「みんなの家」で年齢や障害の有無に関わらず、赤ちゃんから高齢者まで触れ合える居場所作りを行う。コロナの影響で業者の予定が変わり工期が伸びたが、みんなの家の入り口がスロープとなり、トイレも水洗化・多目的化することができた。</p> <p>工事完了後に、小豆島の画家である柳生忠平氏（妖怪美術館長）のワークショップを実施した。年齢、障害の有無を問わず多様な方々が集い、巨大絵巻物を完成させ、交流を深めることができた。</p>
事業実施期日	<p>R3年11月22日スロープ工事完了</p> <p>R4年3月14日トイレバリアフリー工事完了</p> <p>R4年3月27日</p> <p>高齢者、障害者、子どもの交流会として、柳生忠平氏ワークショップ「オリジナル妖怪デザインを描こう」を実施</p>
事業実施の果	バリアフリーとなったみんなの家で、高齢者、障害者、子どもたちが気軽に交流できる環境を作ることが可能となった。楽器を演奏する、展覧会を催す等、イベントに使用し多様な方々が個性を發揮できる場として活用されたい。
備考	

